

大腸がん検診啓発に関する活動情報をお届けします

日頃より、当法人事業にあたたかいご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
広報ブレイブサークル 03号をお届けします。

トイレで気づいて！大腸がん検診の大切さ 大腸がん撲滅トイレットペーパーリニューアル

2021年4月より「大腸がん撲滅トイレットペーパー」のデザインをリニューアルし、販売を開始しました。

2013年度より、当法人が大腸がん検診啓発を目的に開発・販売している「大腸がん撲滅トイレットペーパー」は、これまで多くの自治体や医療機関、企業などで幅広く利用していただいています。「大腸がん検診の啓発イベントで配布」「庁舎内や検診会場のトイレに設置」いただき、「ホルダーからペーパーを引き出すときに必ず目に付くのでつい読んでいます」など、使いながら大腸がん検診啓発を広められると大変好評をいただいています。

その便潜血検査の現場となるトイレで、今一度大腸がん検診の大切さを一人でも多くの方に呼びかけ「よし、今年は受けよう」と受診につなげられたらという思いを込めて製作しました。

当法人Webサイトよりご購入手続きができます。

<http://www.bravecircle.net/>

①個包装紙の大腸がん検診メッセージが目を引く！ デザイン&カラーも変わりました！

明るい色を採用しているため、うす暗いトイレでも目を引くデザインです。企業や商業施設内のトイレに設置いただくのもおすすめです。



個包装紙デザイン
親しみやすいキャラクターが大腸がん検診の大切さを伝えます



トイレの個室に置いた例
目を引くカラーなので、個室に置いても映えます

②便潜血検査の現場はトイレ！ ロール面には大腸がん検診の大切さを伝える内容が満載！

誰もが毎日使用するトイレ。そして大腸がん検診の便潜血検査は、まさにそのトイレで行います。トイレットペーパーのロール面には、大腸がんについて知っていただきたいこと、検診を受けることの大切さを伝えるメッセージをイラストとともにわかりやすく掲載しています。



ロール面には5種のメッセージを記載

資材の新規・追加申し込み

無償提供の小冊子・ポスターについて、昨年12月に都道府県を經由して必要部数をお申込みいただきました自治体の皆さまあてには、2月～5月のご希望月に合わせて発送を完了しております。新規のお申込みや追加注文は当法人Webサイトよりお申込みください。併せてデータ資材(サイネージ用ポスター、動画、イラスト等)の無償提供のラインナップも少しずつ増やしております。ぜひ一度ご覧ください。

http://bravecircle.net/items_page/illustration/

大腸がんクイズラリーは今年も提供中！ 感染症予防対策でペグシルに変更

大腸がん検診啓発の取り組みを支援するため無償で提供している「大腸がんクイズラリー(4枚のポスターにあるヒントを参考に5問のクイズに答えて学ぶ)」運営資材について、今年度も引き続き提供をしています。

今年度からは昨今の状況を鑑み、感染症予防対策の一環として、これまでクイズラリーセットに同封していたボールペン(1セット10本)を、ペグシル(1セット100本)に変更しました。

クイズラリーポスターと解答用紙 ペグシル(長さ11cm) 「大腸がん検診」の文字入り



また会場内に掲示できる運営サポートポスターをデータ提供しています。口頭のご案内を格段に減らすことができます。



運営サポートポスター
(左)定型のタイプ (右)フリーフォーマットで自由に作成可能

Webで簡単！ポチっと「大腸がんクイズラリー」

さらに、同様の5問のクイズをスマートフォンで挑戦できる「大腸がんクイズラリー」も引き続き公開しています。右のQRコードからアクセスできます。



2020年度の新資材プレスリリースが 多数のメディアで紹介されました

2020年度、複数の資材を開発・刷新し、プレスリリースを配信し、新聞やWebメディアに記事として取り上げられました。

(主な報道実績)

・Webで簡単！ポチっと「大腸がんクイズラリー」

読売新聞、読売新聞オンライン、yomiDr.

・スマホで手軽に大腸がん検診小冊子

北海道新聞、茨城新聞、京都新聞、徳島新聞 他20件

新潟県のセミナーにて大腸内視鏡体験を語る ～当法人より経験者の方をご紹介～

2021年3月、新潟県健康対策課より、県内の事業主とその従業員を対象とした「働く世代のがん対策セミナー」に当法人が紹介した精密検査(大腸内視鏡)の受診経験者(40代女性)が取り上げられました。

今回は、毎年の検診で初めて「要精密検査」となり、大腸内視鏡を受けてポリープの切除で終わり、通常勤務をされている方を紹介いたしました。

新潟県、ご本人、当法人をオンラインでつなぎ、質問形式による事前収録を行い、「定期的な検診」「要精密検査の知らせを受けた時の気持ち」「大腸内視鏡検査を実際に受けてみて」「仕事との両立」など率直にお話をいただきました。

経験者本人からの言葉には説得力があり、大変心に響きます。市民の方々に大腸がん検診の大切さを伝える場面にて、このような形で当法人がご協力できたことをうれしく思います。

大腸がん検診で「要精密検査」になっても未受診の方がまだまだ多いことから、ただいま当法人では、精密検査を受けられた方の経験談を集めてご紹介できるよう検討を進めています。早期発見・早期治療のためにも大切な精密検査。いろいろな年代でのエピソードをご紹介できたらと考えています。



新潟県にて公開された動画の一部表情はイラストにて、会話は字幕編集がされていました

事務局より

新型コロナウイルスの感染リスクの不安から、がん検診の受診を控える人が多い状況に危機感を募らせる現場医療者の声を取り上げた記事を目にしました。自覚症状がないため検診を先送りにし、気づいたときには手遅れということがないように、コロナ禍であってもがん検診は定期的を受けてほしい、そのメッセージを伝え続けるため、当法人は今後も啓発資材の開発を続けてまいります。



広報「プレイブサークル」03号
2021年6月発行

NPO法人プレイブサークル運営委員会 事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-22-37 ストーク西新宿303

TEL:03-6908-9160 FAX:03-6908-9150

メール:info@bravecircle.net Webサイト:http://bravecircle.net